

# 向井潤吉 民家への旅路



向井潤吉《春景》【岩手県上閉伊郡宮守村】1976年

趣をそのままに

やすらぎの美術館 再開

2020年

4月18日[土] - 10月4日[日]

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

開館時間 | 10:00~18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

5月4日(月・祝)、8月10日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館、

5月7日(木)、8月11日(火)、9月23日(水)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

\*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

# 旅路への民家

向井潤吉

向井潤吉アトリエ館は、洋画家・向井潤吉(1901-1995)が自宅とアトリエを作品とともに世田谷区に寄贈し、世田谷美術館の最初の分館として1993年に開館しました。昨年秋より空調設備などの改修工事のため休館していましたが、この春、半年ぶりに再開いたします。

本展では、失われゆく草葺屋根の民家を追いつけ、戦後40年間にわたって日本各地を旅した向井潤吉の油彩作品を、実際に使用した絵画道具や地図、記録写真、旅の思い出に持ち帰った民芸品などとともに展示します。東北地方や長野、京都など、向井が特に足繁く通った地域の民家を中心に、四季折々の自然にいだかれる民家の佇まいを、向井の民家への旅路をたどる資料とあわせて、じっくりとお楽しみいただければと思います。

旅する画家のやすらぎの空間であり、日々絵筆を揮った仕事場でもあった自宅とアトリエ。その趣を、今そのままに伝える向井潤吉アトリエ館に、ぜひお越しください。

2020年4月18日[土]より再開



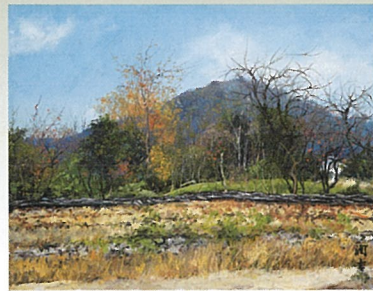
《春塘》  
[埼玉県川越市郊外]1984年



《春遊》  
[埼玉県東松山市神戸]1988年



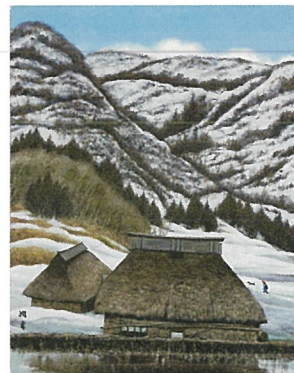
《山間草災》  
[山形県東田川郡朝日村田妻侯]1962年



《古壁の秋》  
[奈良県奈良市高畑町福井、奈良新薬師寺近く]1971年



《比良春雪》  
[京都府京都市左京区大原]1970年



《宿雪の峽》  
[長野県下水内郡栄村秋山郷]1983年

担当学芸員によるギャラリートーク  
4月18日(土)、6月20日(土)、9月12日(土)  
\*各日11:00より20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

※[ ]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>  
[交通案内]  
◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分  
◎東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分  
◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



©宮本和義

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>  
■宮本三郎 絵画、その創作とプロセス  
2020年4月1日(水)～10月4日(日)



©宮本和義

## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>  
■清川泰次 絵と言葉  
2020年4月1日(水)～10月4日(日)



©宮本和義



世田谷美術館  
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)

[展覧会のご案内]  
TEL.03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>  
\*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

ミュージアム  
コレクション

- 驚異の三人!! 高松次郎・若林董・李禹煥一版という場所で: 2020年4月18日(土)～6月7日(日)
- 没後20年 麻生三郎展 三軒茶屋の頃 1948-1972: 2020年8月29日(土)～10月18日(日)
- ミュージアム コレクション I 続・気になる、こんどの収蔵品——作品がつれてきた物語: 2020年4月25日(土)～6月14日(日)
- ミュージアム コレクション 特別篇 グローバル化時代の現代美術: 2020年7月4日(土)～8月16日(日)
- ミュージアム コレクション II 吹田文明と版画集『東京百景』(仮称): 2020年8月28日(金)～12月6日(日)